


2月2日 逍遙 

すずにとっての西郷銅像、

のこころ

ここ城山の麓に住むようになってもう8年近くになる猫のワタシにとって、一番馴染みのある人間は?と聞かれば、ワタシの飼い主さん以外だと、やっぱりあの西郷さんでしょうか。何故って、ワタシの住むお店のすぐ近くの国道沿いに、静かに、それでいて威風堂々と佇む西郷さんの銅像は、この辺りを散歩コースにしているワタシにとって、絶好の休憩スポットですから。

何と言っても、西郷さんの銅像の足元にある幾つものこんもりした植え込みは、猫のワタシにとって、夏は涼しい木陰をいっぱい提供してくれる森ですし、冬は絶好の日向ぼっこの場所にもなりますから、猫のワタシにとっては、本当に体に優しい休憩スポットなのです。そしてもう一つ、ワタシがとても気に入っているのは、この西郷さんの銅像の、その何とも言えない穏やかな表情が感じさせてくれる不思議な優しさ、今を生きているワタシをちゃんと見守ってくれているような、そんな心地よい安心感が漂う空間なのです。

西郷さんの銅像の、この優しさと安心感は、一体どこからくるのでしょうか？

次回「すず 人間達の「文明」を疑う、のこころ」

